

オンラインの便利さを活用した HUG

コロナ禍の 2020 年 5 月に FAJ（日本ファシリテーション協会）の仲間と作った「オンライン HUG（避難所運営ゲーム）」。「対面の研修が増えてきましたが、オンラインの便利さは捨てがたい。」ということで、オンラインでの研修もこれからも残っていくことが予想されます。

☆HUG のオンライン化経緯

コロナ禍で行動が制限され、オンラインの活用が進みました。FAJ でも 2020 年 3 月の定例会から各拠点一斉にオンラインにシフトしました。5 月の定例会で HUG を予定していましたが、従来のカード式の HUG ができないという状態になりました。

そこで、定例会メンバーでオンラインでの HUG を試行錯誤で作成し、定例会を行いました。

通常の対面での HUG は、スピードを競います。1 時間ほどの時間で、次々に小学校へやってくる避難者に対して、どの場所に避難してもらうか？をできるだけ短時間（ほぼ、直感的）で検討し、配置していく…。というものです。

ところが、オンラインでは、（特に当時は）同時に声を出しても誰かひとりの声しかコンピューターが拾わないので、複数人が同時に言っても聞こえないということが起っていました。

という訳で、ゆっくりと話し合うことを前提としてプログラムしました。

当日は、静岡放送（HUG は静岡県が作成したものです）と中日新聞さんが取材に来ていただきました。

☆2023 年のオンライン

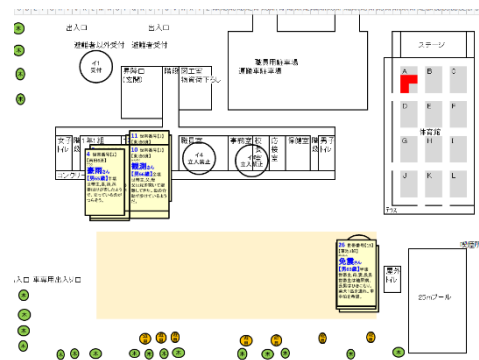
ゴールデンウィーク明けからコロナが 5 類になるということで、この頃は、対面での研修、ワークショップ、そして HUG も増えているようです。

そのような中ですが、オンラインで HUG を行う機会をいただきました。県の単位で HUG をしようとする、オンラインでは、集まるということへのハードルが低いこと、オンラインに慣れたことも要因としてあるのでしょうか。

事前にグループファシリテーターを引き受けてくださる方々との勉強会を行い、ファシリテーションと HUG の操作に慣れていただいて、主催団体の方と FAJ の協働で開催できました。

* 身体を移動させる・直接会うことの楽しさと、家や職場にいてできる便利さ。対面とオンライン。どちらも捨てがたい！それで、両方のいいとこどりの「ハイブリッド」にも挑戦できるといいな♫と思っています。ワークショップもハイブリッドで進めたりしていますが…

HUG のハイブリッド…まだ、想像がつかません。でも、新しいことに挑戦していきたいな♫と思いました。少しでも、みなさんのお役に立てば、とってもうれしいです。



オンライン HUG イメージ